

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2025年 第47週（11月17日～11月23日）

今週のコメント

～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 警報レベル超え続き、さらに増加」

第47週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,383例であり、前週比6.4%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎、伝染性紅斑の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.15、1.70、0.98、0.75、0.45である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比16%減の582例で、大阪市西部5.50、南河内4.93、中河内4.26、豊能3.91、北河内3.52であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は8%増の314例で、南河内2.73、豊能・中河内1.95である。

RSウイルス感染症は17%減の181例で、大阪市北部2.31、南河内1.80、北河内1.22であった。

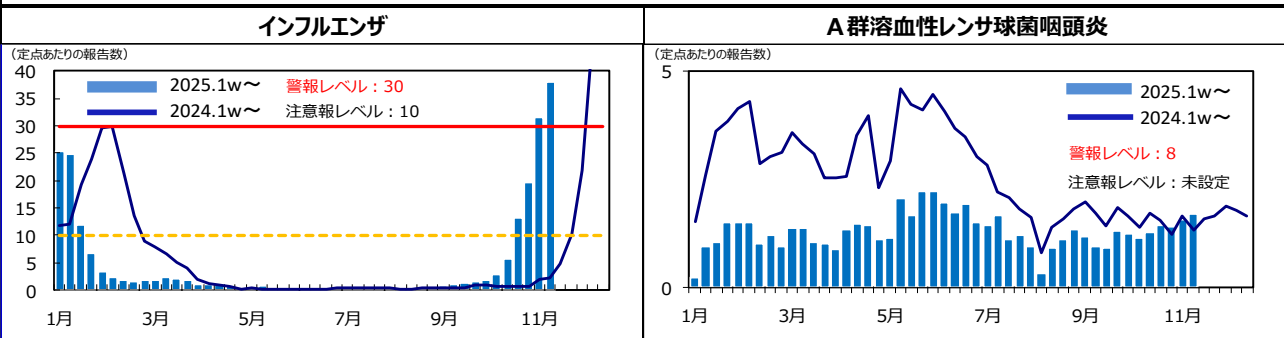
流行性角結膜炎は増減なしの39例で、中河内3.00、大阪市西部1.50、堺市・泉州1.00である。

伝染性紅斑は22%増の83例で、南河内1.80、中河内0.79、北河内0.61であった。

インフルエンザは20%増の11,060例で、定点あたり報告数は38.01である。北河内51.42、南河内49.83、大阪市北部43.60、堺市41.48、中河内38.45である。11ブロック中8ブロックで警報レベル開始の目安となる30を超えている。年齢別割合では、0歳から9歳までが6,360例で、全体の57.5%を占めていた。

新型コロナウイルス感染症は4%増の292例で、定点あたり報告数は1.00である。大阪市東部2.00、豊能1.23、南河内1.17、大阪市西部1.13、泉州1.00であった。

急性呼吸器感染症（ARI）は、2%増の19,396例で、定点あたり報告数は66.65である。南河内99.04、北河内82.16、堺市81.48、大阪市北部77.15、中河内67.83であった。



※2025年第15週以降、定点医療機関数の変動により、警報レベル・注意報レベルの数値は参考値

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2025年 第47週11月17日～11月23日）

第47週の順位	第46週の順位	感染症	2025年 第47週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2024年 第47週の 定点あたり 報告数	2025年第47週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	3.15	16%減	3.59	1歳_14%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.70	8%増	1.31	10-14歳_19%
3	3	RSウイルス感染症	0.98	17%減	0.52	1歳_40%
4	4	流行性角結膜炎	0.75	増減なし	0.46	20歳以上_64%
5	5	伝染性紅斑	0.45	22%増	0.05	4歳_22%
参考		インフルエンザ (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	38.01	20%増	2.17	10-14歳_21%
参考		新型コロナウイルス感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	1.00	4%増	1.03	80歳以上_18%
参考		急性呼吸器感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	66.65	2%増	-	1-4歳_29%

2025年第15週から急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection : ARI)サーベイランスが開始となりました。

2025/26年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

各疾患の詳細は、大阪府感染症情報センターホームページ（定点把握疾患、疾患別情報、病原体検出情報）をご覧ください。

第47週のコメント

～エムボックス～ 大阪府では2023年は22例が報告された

全数把握感染症	
エムボックス	
<p>エムボックスは、エムボックスウイルス（Monkeypoxvirus）を病原体とする感染症である。i）主に感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液に触れた場合（性的接触を含む）、 （ii）患者と近くで対面し、飛沫に長時間さらされた場合、 （iii）患者が使用した寝具等に触れた場合等により感染する。人々が長期間、頻繁に密接に接触する集会は、エムボックスの感染リスクを助長する可能性があり、集会参加者や主催者へ向けた感染拡大防止の注意喚起や啓発活動を積極的に実施することが重要である。世界保健機関（WHO）によると、世界では、2022年1月以降、16万人以上の感染例が報告されている（2025年11月7日時点）。国内では、2022年7月に1例目の患者が報告された。2023年以降も患者の発生が続いており、累積で262例（前週比+3名）の症例が確認されている（2025年11月21日更新）。</p> <p>エムボックス（国立健康危機管理研究機構） エムボックスについて（厚生労働省）</p>	<p style="text-align: center;">年別累積報告数（大阪府）</p> <p style="text-align: center;">※2021年、2022年、2024年は0例である</p>

表2. 大阪府全数報告数（2025年 第47週11月17日～11月23日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内市町村								府内累積報告数	
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3		1							2	216
4類感染症	エムボックス	1	1									2
5類感染症	ウイルス性肝炎	1									1	16
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1									1	43
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1									1	8
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1		1	1					1	278
	梅毒	4						1		1	2	1,528
	百日咳	17	1	1	2	2	1				10	3,186
	麻疹	1									1	20
結核 (2025年9月分)	結核 新登録患者数：96名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 41名) (府内累積報告数 884名、内 肺・喀痰塗抹陽性 303名)											

(2025年11月25日 集計分)